

各 位

会 社 名 株式会社青山財産ネットワークス  
 代 表 者 代表取締役社長 蓮見 正純  
 (コード番号 8929 東証第二部)  
 問合せ先 取締役執行役員 経営企画本部長 橋場真太郎  
 (TEL 03-6439-5800)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年2月4日に公表しました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2020年12月期通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	1,800	1,700	1,200	99.06
今回修正予想(B)	17,000	1,230	1,110	720	59.30
増減額(B-A)	△ 5,000	△ 570	△ 590	△ 480	—
増減率(%)	△ 22.7	△ 31.7	△ 34.7	△ 40.0	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	19,061	1,603	1,503	1,676	140.00

#### 2. 修正の理由

2020年2月4日に公表いたしました2020年12月期通期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響はさほど大きくないと予想し、財産コンサルティング収益60億円、不動産取引収益160億円、合計で220億円の売上を見込んでおりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は予想以上に大きく、今般、2020年12月期第3四半期の業績進捗状況を踏まえ、通期業績予想を修正することになりました。

修正理由については以下の通りです。

##### (1) 財産コンサルティング収益

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面での開催を見込んでいたセミナーはほとんど自粛せざるを得ず、金融機関からのご紹介も、緊急融資対応や金融機関自体が顧客との対面での対応を自粛されたことで一次中断したことにより、当初見込んでいた営業活動が制約され、財産コンサルティング収益が減収となる見込みです。しかしながら、9月以降はWEBでのセミナーも少しずつ開催できるようになり、また金融機関からの顧客紹介も従来のペースに戻りつつあります。

##### (2) 不動産取引収益

新型コロナウイルス感染症拡大により不動産市況がどのような影響を受けるかが不透明な状況が継続したことから、ADVANTAGE CLUBの組成について慎重に対応せざるを得ませんでした。また、お客様も不動産の取得について様子見の状態が継続しました。その結果、お客様への不動産の提供が計画通りに進展しなかったことから、不動産取引収益は減収となる見込みです。しかしながら、9月以降は今後の不動産市況が安定的に推移するのではとの見方が広がり、お客様の不動産への購入意欲が高まってきており、従来通りの不動産の提供ができる見込みです。

##### (3) 各段階利益

様々な経費の削減に努めたものの売上高の減少を補うには至らず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに当初予想を下回る見込みです。

※なお、配当予想については2020年2月4日に公表させていただいた通り、中間配当20円(実施済み)、また、期末配当33円を行う予定で変更はございません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。